

電 設 新 聞

発行所
社団法人 電気設備協会
福島県電設業協会
発行人 國津政夫
郵便番号 960
福島市松浪町9-6
(福島県電設協会館)
電話 (0245)33-6226
編集印刷 福島タイムズ社
福島市御山字井戸上64-5

電気設備
住宅設備機器
コーディネーター OKADA

岡田電気産業株式会社
本社 福島市平谷川瀬字明治町二七
営業所 白河・須賀川・郡山南・郡山北・会津
原町・相馬・福島東・福島・いわき南
勿来・他県外十二ヶ所

5月11日に福島市で 技術者三人も準備に

第10回工事施工体験発表会

電気設備工事技術者の技術力と資質向上をめざして本協会が毎年実施している「工事施工体験発表会」の実施日程がこのたび決定した。今年は五月十一日午後一時より福島市の県青少年会館において開催されることになっており、郡山・白河・相双の各支部企業技術者が、自らの体験を紹介する。

資質の向上めざす

本協会での技術委員会では、その施工体験を発表する恒例行事となった工事施工体験発表会も今年で十年を迎えるが、今回は五月十一日午後一時より福島市の青少年会館で開催することになった。この日は、電気設備工事の最前線に立つ支部会員ら技術者

土木部長に志摩氏就任

県の定期人事異動

県では十六年振りとなる機、その整備促進等に努めてきた功績や一貫して都市畑を歩んできた小博氏の手腕を惜しむ声は高かったものの、後任には白石五郎氏(前土木部長)が就任したことで幾分落ち着いた様子を取り戻している。

その白石土木部長は、浪博氏(五十二歳)を得て、その後任に渡辺一雄企業局長をつくり事業や都市基盤整備、特に公共建築物の在り方を含



志摩新部長

2年間福島工事に

なほ、今回の建設省人事で土木部長に就任した志摩氏は、宮崎県出身。東大工学

40周年事業を協議

第四回理事会で新時代への対応探る

第四回理事会を三月三十一日付け。昨年は、福島市の電設協会館で行い、河電代表取締役、国道正副会長や理事あわせて二十一人が出席した会議において、先ず國津会長が、「協会運営も皆さんの協力のもと順調に



体験発表者の講話に聞入る前参加者

5月15日まで受付

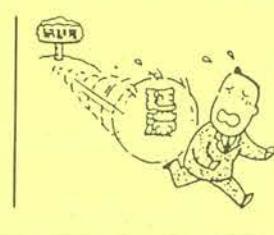
労保の年度更新業務
平成七年度の労働保険の年度更新を行う時期がきた。

四月初めに福島労働基準局または県商工労働部雇用保険課から送付された申告書用紙と記入要領をよく読んで五月十五日までに最寄りの金融機関、郵便局、労働基準監督署、福島労働基準局または県雇用保険課において手続きするようにしよう(期日までに申告できるように)賃金台帳等を整備しておくことをお願いしたい。自主申告が原則です。

総会へ向けての 会議日程決める

本協会の平成七年度通常総会に向けて各会議日程が決定した。

総会提出議案は、五月七日に行われた正副会長会議、そして二十三日の総務委員会を経て二十四日の理事会で決定される。また、監事会は二十五日の予定。会場は福島市の電設協会館。



電線地中化に対応した 新しい都市環境照明です。

- 道路照明、信号、交通標識を一体化。
- 電線地中化事業(CABシステム)に対応。
- 街並みの美化、都市景観向上へ貢献。

ナショナル多目的ポール照明

お問い合わせは (〒963)郡山市朝日2丁目5-15松下電工・福島営業所 ☎(0249)39-7731



義援金1千万贈る

建産連で國津会長らが



一月十九日の新春賀詞交歓会で阪神大震災(兵庫県南部地震)の被災者らへ一千万円の義援金を決めた(財)県建設産業団体連合会(志賀久太郎会長)は、その翌日となる二十日、日本赤十字福島支社を通じて義援金を贈った(本協会からは國津会長が出席)。

一月十九日の新春賀詞交歓会で阪神大震災(兵庫県南部)

七年度は348件に

県営繕工事概要を発表

県土木部管轄では平成七年度の管轄事業概要をまとめたこのたび発表した。

新年度受託事業は知事部局や教育庁、県警本部など合わせて工事三百四十八件、二百四十三億一千九百万円で、設計および調査委託は百二十六件、十三億八千四百万円となった。工事件数では昨年度当初を八十四件上回ったものの工事費はおよそ十三億四千四百万円減少となっている。

新年度は、「21世紀の新しい生活圏」をめざして「創造」の実現をめざして魅力ある公共建築の創造を通して県土の美しさを先導していくための施策展開に尽力すると、いった県の基本方針は昨年と変わらぬ。

また、県民意識も高度な技術革新、高度情報化ならびに高齢化社会などの中にあつて大きく変化しており、生活にもゆとりを求めるようになつてきていることもあり、公共建築においてもこうした県民ニーズを的確に把握して高年齢者などに対する配慮や良好な室内環境の整備、そして地域景観にも配慮した文化の香りをもたせしめるような施設づくりをめざす考え。

施策展開においては、「潤いのある良好な生活環境の創造」と「活力ある地方生活圏の実現」を念頭とすることはもとより、使いやすく安全で快適な施設整備を進めると共に、

に公共建築の省エネルギー化や環境共生型の施設整備・外構整備を行いつつ「ふくしま新世紀プラン」を踏まえた公共建築整備の在り方を検討していく。さらに、県海洋文化・学習施設の指名設計競技ロポーザル競技なども行われ、

▽衛生公害研究所放射能力分析棟新築(福島市) 鉄筋コンクリート造二階建五〇〇坪

▽浪江救護院移転改築(浪江町) 鉄筋コンクリート造平屋建三、四三〇坪

▽ばんだい学園整備(猪苗代町) 鉄筋コンクリート造

▽会津総合病院スプリングラ一ほか設備(会津若松市)

▽オートキャンプ場整備(大玉村)

▽ヒラメ栽培漁業振興施設整備第二工区(大熊町) 鉄筋コンクリート一部木造平屋建四、〇九五坪

市町村等より77人参加

行政建築家めざし

第一回公共建築連絡会議

県土木部都市局管轄では公共建築の質水準向上を図るべく、これまで行われていた市町村管轄担当者会議をこのたび発展的に解消して新たに県が加わる新体制でスタートする「公共建築連絡会議」を二月二十二日に原町市の県庁舎で開いた。

初会合となるこの連絡会議には、県と県住宅供給公社、県建設技術センターと県内の市町村から公共建築に携わる七十七人が参加した。

会議はまず、宗像武久県管轄課長(現土木部都市局建築住宅課長)がこの連絡会議は単なる会議としてのものではなく、意見を率直にぶつけあえる研究の場として参加者全員で共有していきたくと考えている。そして都市景観やまちづくりを含めて公共建築はこの先どうあるべきかを考え、他県の見学や分科会毎の研究などもできるように検討していきたくと思つたと設立趣旨を説明した。

引き続き高野佳久相建設計課長(現土木部道路維持課長)があいさつした後、議題に入り、同会議の事務局を県土木部都市局管轄課に置くことなどが盛り込まれた。

このあと、「これからの公共建築を考える」と題して建設省東北地方建設局管轄部の土屋邦男計画課長が講演を行った。この中で土屋課長は、既に概念にとられない都市構想ができ、整備が円滑に進むシビックコア整備制度を説明するとともに、「現在、技術者は地域住民との関わりや設計者選定など行政的な能力が求められている。東北六県では初めてとなるこのような会議の今後には大きく期待している」と語った。

続いて事例として福島駅前公衆トイレにおけるワークショップ(四月一日開所)、野馬追資料館の建設、県が行った県産見本市会館(仮称)と浪江救護院の設計者選定について各担当者から発表があったほか、阪神大震災の報告やつくしま公共建築設計展入賞者作品の表彰が行われた。翌二十三日には原町市にある野馬追資料館や浜通り高等技術専門学校、大熊町の県ヒラメ栽培漁業振興施設を見学した。

電気記念日

知事賞に佐々木邸

モデル住宅コンクール

東北電力(株)福島支店と県電力活用推進協議会の共催で毎年電気記念日に合わせて行われているモデル住宅コンクール(第三十回)の表彰式が三月二十四日、JR福島駅東口のホテル辰巳屋において実施された。三月二十五日は、我が国で最初に電灯が灯つた記念すべき日。電気は歴史は古く、百十七年前、東京の電信中央局が開業、その祝賀会

においてグローブ電池を使つて五十個のアーチ灯を点灯させたことに始まっていることは本協会員ならば周知の通りなことと思つた。それ以降、急速なる普及で、現代生活には必要不可欠な存在となつてい

▽佐々木邸(富岡町) ①住宅 友林業(株)福島支店 ②小松電工(株)

▽県電力活用推進協議会長賞

▽小松山邸(会津若松市) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

▽柴田林邸(いわき市) ①油座建設設計事務所 ②油座建設(株) ③ スズキ電設

▽東北電力福島支店賞

▽藤田英明邸(郡山市) ①清水建設建築設計事務所 ②清水建設(株) ③ ぬめ電設

▽長谷川博邸(西郷村) ①(株)斎藤建築設計事務所 ②白岩工務店 ③ 大戸電設

▽羽根田守邸(相馬市) ①AKP建築設計事務所 ②安藤工務店 ③ 北相電設

▽近藤良広邸(いわき市) ①佐藤建築研究室 ② 丸丸工務店 ③ 明電社 ④ 電気施工者名)



県知事賞に輝いた佐々木邸

全な設計、適切な施工技術による住み良い住宅の普及を図つて県民生活の向上等に寄与することを目的に実施される同コンクールには毎年数多くの優秀な作品が寄せられている。今回は、平成五年十一月一日から翌六年十月末日までの間に竣工した住宅を対象として県内各地から二十六件の応募があり、地区審査や県審査を経て知事賞には富岡町の佐々木邸が選ばれたほか、県電力活用推進協議会長賞として三件、東北電力福島支店賞四件が選出された。

受賞作品は次の通り(①設計者名②施工者名③電気施工者名)。

▽佐々木邸(富岡町) ①住宅 友林業(株)福島支店 ②小松電工(株)

▽県電力活用推進協議会長賞

▽小松山邸(会津若松市) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

▽柴田林邸(いわき市) ①油座建設設計事務所 ②油座建設(株) ③ スズキ電設

▽東北電力福島支店賞

▽藤田英明邸(郡山市) ①清水建設建築設計事務所 ②清水建設(株) ③ ぬめ電設

▽長谷川博邸(西郷村) ①(株)斎藤建築設計事務所 ②白岩工務店 ③ 大戸電設

▽羽根田守邸(相馬市) ①AKP建築設計事務所 ②安藤工務店 ③ 北相電設

▽近藤良広邸(いわき市) ①佐藤建築研究室 ② 丸丸工務店 ③ 明電社 ④ 電気施工者名)

社会のニーズに応え 省エネに貢献する..... **Aichi**

各種トランスの **受知電機**
高圧スイッチの **大垣電機**

(発売元) **受知電機商事(株)** 仙台営業所
仙台市青葉区宮町1丁目1-20
TEL 022-221-5576

三菱照明器具・換気扇

株式会社 三菱電機ライフテック東北

福島支店 TEL(0245)34-7121
郡山支店 TEL(0249)59-6060
いわき支店 TEL(0246)26-0211
会津支店 TEL(0242)27-4425
原町営業所 TEL(0244)22-8821

TAKAOKA

フル容量で、フルラインアップ

無停電電源装置 **クリーンUPS**

●クリーンUPS 3KV

■低損失形変圧器
■課電表示器
■受変電設備、システム製品、水処理その他の環境設備

コンピュータシステムのニーズに応える

株式会社 高岳製作所
福島営業所 TEL0249(33)7709
〒963 郡山市駅前1-14-21(郡山花椿ビル)

KOTO
安全と快適を求めて

安全への **トータルシステム**

●道路情報表示システム
●道路気象観測システム
●トンネル防災システム
●交通管制システム
●交通信号機
●街路・広場・スポーツ照明

小糸工業株式会社

仙台支店 〒980 仙台市青葉区国分町2丁目2番5号(柴崎ビル) ☎022(225)7501

